



折り返し戻る

尾根上を進んでしまった

折り返し戻る

踏み跡がありすぎ、それを辿って道迷いに。GPSで現在位置を確認し、元に戻り事なきを得た。

ほとんどの木々は落葉しておまけに踏み跡らしきものがあったので歩きやすかった。しかしそんな中で一番困ったのが逆に踏み跡がありすぎたことだ。しかも立木にぶら下がった古いビニールや境界標識があちこちにある。そのためこれらを追って踏み跡を辿っているとどうもおかしいのではないかと思い、地形図を広げるものの残念ながら現在地が特定できない。そのためGPS（山旅ロガーと地図ロイド）を取り出して確認すると間違った尾根に入り込んでいることに気づき、慌てて後戻りし事なきを得る。まさにGPS様々である。（HP参照）

里山で踏み後が多い場合、何も考えず歩いていると全然違う方向に歩いていることがある。地図の先読みをしていないからだ。道に迷った場合、現在位置を確認し元に戻る。言うは簡単だが、実際は、「このまま進んでも、何とかなる」と思い戻らない場合は多い。道迷いから遭難に発展する典型である。地図アプリがあり、現在位置が確認できる。さあ、あなたならどうする？